

SOGI研究会

代表者：先端総合学術研究科一貫制博士課程7回生 OUYANG Shanshan
指導教員：小川さやか先生

研究会の紹介

SOGI (Sexual Orientation and Gender Identity) とは、性的指向とジェンダー・アイデンティティのことを意味する。本研究会はSOGIの視点で幅広い課題を検討することを目指している。研究会は2019年に立ち上げ、これまでの読書会や勉強会では、ジュディス・バトラーの『ジェンダー・トラブル』やイヴ・セジウィックの『男同士の絆—イギリス文学とホモソーシャルな欲望—』などを読んで、クィア映画を鑑賞し、関連論文を講読してきた。また、外部の先生をお招きし、BDSM、HIV/AIDS、東アジアのLGBT運動などテーマについて学習し、メンバー各自の研究との接点を探し、議論を深めてきた。

2024年度研究会は7年目になり、今年のご目的は、メディア論、アイデンティティ論、社会運動論において、SOGIにかかわる問題はどのように論じられているのかという課題を中心に、地域研究、クィア理論、メディア分析、フェミニズムなど多様な分野から考察することである。**本研究会は、あらゆる形のSOGI差別に強く反対します！**

過去の活動

立命館大学先端総合学術研究科2019年度SOGI研究会企画
2020年2月26日(水)14時~17時
立命館大学衣笠キャンパス 創思館401・402

ケア・BDSM・親密性

講師：小西真理子氏(大阪大学)

親密な関係を求める事がない人や、「普通」ではない性的嗜好を持つ人を病弱や異常者としてみなす傾向は未だに日本社会には存在する。だが逆にセクシュアリティが産物の属性だけのものに留まらずに広くはくばられているものもある。日本社会において「普通」な関係は存在し、それは意味を帯びていくために、性科学や精神分析を援用し入れ替わっていった。さうして「変態性論」も、さうした変態から、一部では肉欲よりも精神を重視するロジックも溢れ、結局セクシュアリティが公共的空間で共有されていく背景には、「個人間が交わり合っている」という「愛」や「コミュニケーション」などという関係性重視の傾向も現れている。「性」とは異なる性としてセクシュアリティが、人間的アイデンティティの中核にある人間の要素のバリエーションの一つとして出てくる事もある。さうして「正常」なセクシュアリティから離れたものは性的クィアな身体的属性と等価として、差別化されていく事によって、性表現も作り出される。そこから、「正常」とされるセクシュアリティに付随している性規範を、クィア、性的嗜好における身体的傾向 (BDSM)、親密性を中心に批判的に検討していく必然性が生じる。少人数の研究会では、さうした無制限の議論の一端として、BDSMを事例に小西真理子氏からご講演いただき、議論していく事とした。

・小西先生の講演の際、開演した学生発表やディスカッションを行います。
・小西先生の講演についてお聞きする「質疑の時間」(2019年、見守り期間)に事前に目録したいなどと、より理解が深まるかと思えます。
・事前予約や参加費等は不要、途中入室も自由

立命館大学先端総合学術研究科2020年度院生プロジェクト
SOGI研究会公開研究会

性・アート・リレーションシップ

2021年2月13日(土)14時~17時
オンラインでの開催

講師：竹田恵子氏
(お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所)

「生かされる「アート」(S/N)・アイデンティティ・コミュニティ」

ご講演の際、開演した学生発表やディスカッションを行います。
＊ご質問については開演後の質疑応答(質疑応答の「アート」パフォーマンス・アート(S/N)とアイデンティティ) (2020年、ナカシマ画廊に事務局にお目録したいと、より理解が深まるかと思えます。
・事前予約、途中入室も自由 (https://forms.gle/Ws3v3J0b84WwT9NA8)

立命館大学大学院先端総合学術研究科 院生プロジェクト-SOGI研究会 公開研究会

SOGIと宗教を考える

2021年2月25日(木) 13時半開始

第一部 講演「クィアとキリスト教神学」
講師 朝香知己 (立命館大学授業担当講師)

第二部 院生報告・議論
発表者 飯塚真樹 (立命館大学研究科院生)

コーディネーター 堀江有里 (国際基督教大学ほか非常勤講師)

Zoom開催
入場自由
事前申込み
↓↓↓↓

今後の予定

★読書会

クィア・スタディーズに関する文献・論文の輪読を行うことを活動の基本とする。その場、担当メンバーがレジュメを作って発表する。1月に1回開催。

講読文献の例
Fischer, N.L., Westbrook, L., & Seidman, S. (Eds.), 2022, *Introducing the New Sexuality Studies*, Routledge

★講演会

読書会で検討したテキストの著者、海外の研究者を招きして、公開研究会を行う予定がある。

立命館大学大学院先端総合学術研究科2021年度院生プロジェクト
SOGI研究会 公開研究会

2022年2月13日 13:00-16:00(12:30開場)
ZOOM開催
※事前申込みあり
事前申込みはこちらからどうぞ

●講師:羽生有希
(国際基督教大学ジェンダー研究センター研究員)
発表テーマ:「フェミニスト現象学の継承としての『ジェンダー・トラブル』」

●研究会メンバー発表:森祐香里
(立命館大学文学研究科日本文学専修修士後期課程)
発表テーマ:「(肉)性を考える場としての文学—第二次世界大戦直後日本における肉性文学研究から」

概要
これまでのバトラーの議論を参照しつつ、バトラーの議論を踏まえフェミニスト現象学や文学分析との結びつきに焦点を当てて議論をする。そして、バトラーのみならず、哲学的フェミニズムの可能性、日本文学の新たな読みかたとしての可能性を提示し、昔ながらの議論ができればと考えている。

お問合せは gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp まで

立命館大学大学院先端総合学術研究科 2023年度院生プロジェクトSOGI研究会

プライドパレードをめぐる議論と戦略の変遷

講演：齊藤巧弥
(札幌国際大学観光学部 観光ビジネス学科)

2024年2月20日(火)13時から オンライン開催
Microsoft Teams 12時半開始
会議ID: 466 904 257 120
パスコード: PUX6gF

★ご講演の後、院生発表やディスカッションを行います。
情報等などについてのお問合せ gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp

立命館大学大学院先端総合学術研究科 2023年度院生プロジェクトSOGI研究会
Ritsumeikan University, Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences

Bear Study & Queer Geography

December 9th, 2023(Sat) 17:00~ (JST) ※ Language: English Join us ↓↓↓

Microsoft Teams
Meeting ID: 476 405 256 903
Passwords: pG2YH8

SPEAKER
Dr. Nicholas McGlynn
University of Brighton, UK
Dr. McGlynn is a senior lecturer in Geography, School of Applied Sciences, Centre for Spatial, Environmental and Cultural Politics, Centre for Transforming Sexuality and Gender. His current research concentrates on the geographies of the GBQ men's Bear subculture.

PRESENTER
Students from Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences, Ritsumeikan University

● Sayaka MIYAUCHI "Worldwide Queer Representations and Walking Scores"
● Shanshan OUYANG "Access to the Pride Parade"

Contacts: gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp

研究会の参加にご関心のある方 : gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp (OUYANG)

先端研院生プロジェクト2024スタートアップ報告会